

市民フォーラム

大型風車の建設ラッシュを考える

北海道は国内でも有数の風力発電施設の建設ラッシュを迎えています。大規模ウインドファームは広い面積を必要とし、地域住民や生態系への影響が懸念されますが、本当に導入への合意が図られているのでしょうか？本フォーラムでは、風力発電の導入と市民との合意形成について広く議論します。

日時: 2016.8.20(土)14:00-17:30(開場13:30)

会場: 北海道大学大学院地球環境科学研究院D棟201号

【講演内容】

「風力発電の社会的受容性～ステークホルダの多様性を踏まえて」
丸山康司(名古屋大学大学院環境学研究科)

「北海道北部の大型風車建設による生態系と景観への影響の懸念」
小杉和樹(日本野鳥の会道北支部)

「宗谷地域におけるメガウインドファームの環境影響評価:現状と課題」
遠井朗子(酪農学園大学環境共生学類/エネルギーチェンジ100)

「地域の議論を踏まえた土地利用規制の必要性～石狩市を例に」
菅澤紀生(すがさわ法律事務所)

「北海道の土地利用の変遷と再生可能エネルギー導入」
金子正美(酪農学園大学環境共生学類/エネルギーチェンジ100)

「野鳥との共存をはかるセンシティブティマップの重要性」
浦達也(公益財団法人 日本野鳥の会)

「パネルディスカッション」
進行:長谷川理(エコ・ネットワーク)

・参加費:無料

・先着順150名:当日参加も可能ですが事前にお申込みください

・申込み先:<メール> office@yojo.kapiu.org

<電話> 011-737-7841(エコ・ネットワーク)

主催:公益財団法人日本野鳥の会

共催:北海道エネルギーチェンジ100ネットワーク

協力:北海道大学大学院地球環境科学研究院藤井賢彦研究室
エコ・ネットワーク

助成:地球環境基金